

新潟駅周辺整備事業とは

新潟駅周辺整備は、日本海側の拠点にふさわしい都市機能の強化に向けて、鉄道在来線の高架化や立体交差道路、駅前広場等の都市基盤をはじめとした、駅周辺市街地の総合的な整備を図るものです。

新潟駅周辺地区の役割と将来像

【役割】

日本海側の国土軸の強化

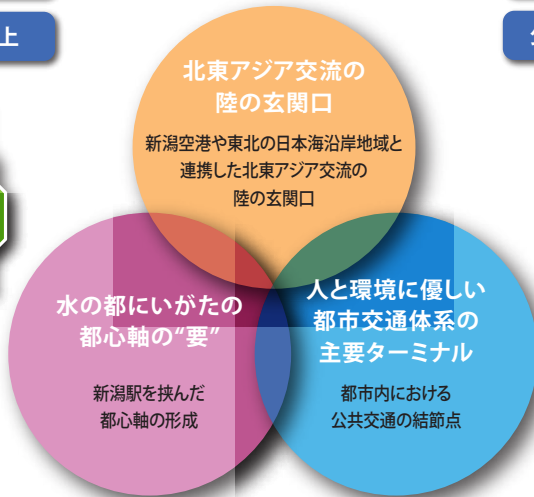
「新潟」の拠点性の向上



【役割】

新潟駅を挟んだ都心軸の形成

公共交通の結節機能強化



将来像

新潟駅周辺地区の現状と課題

駅周辺地区

現状

- 南北市街地の発展に不均衡が生じています。
- シンボリックな施設がなく、陸の玄関口としての魅力に欠けています。

課題

- ▶ 南北市街地の一体化を図り、都市機能（商業業務・交通機能など）の強化・集積を図る必要があります。
- ▶ 生活道路の整備、公園・広場・居住環境を改善する必要があります。



天神尾踏切



米山踏切

現状（2018年4月14日まで）

- 地区内の踏切で交通混雑が慢性化していました。
- 歩行者と車両が狭い踏切を通過するため、危険な状態となっていました。

- ▶ 2018年4月15日に踏切が廃止され、交通混雑解消や歩行者などの安全確保が図られました。

踏切



旧天神尾踏切



旧米山踏切



万代広場

新潟駅

南口広場
(2009年供用)

出来島上木戸線

現状

- 万代広場では安全性の確保、交通処理に影響が出ています。
- バスターミナルがスイッチバック方式となっています。

課題

- ▶ 安全で円滑な交通処理を図るとともに、高齢者や障がい者などすべての利用者にとって利便性の高い駅前広場にする必要があります。

現状

- 交通混雑が発生しています。
- 東跨線橋沿道で有効な土地利用が図られていません。
- 歩道が狭く、緑が少ないため安全性・快適性が不足しています。

課題

- ▶ 鉄道横断部の交通混雑の緩和と鉄道を挟む南北市街地の一体化を高める道路整備の必要があります。
- ▶ 歩行者、自転車にとって安全で快適な交通環境に改善する必要があります。

駅前広場



万代口
バスターミナル



出来島上木戸線



東跨線橋

周辺道路